

ごあいさつ

坊田かずまの会

会長 竹森 鉄舟



郷土の生んだ偉大な作曲家、坊田寿真は大正後期から昭和前期に中央の音楽界で華々しく活躍しました。

彼は麻布三河台小学校の音楽専科として、独自の器楽合奏の指導を実践して名声を博し、器楽合奏の先駆者として、海外ニュースでも報道されました。坊田かずまは児童の音楽教育に軸を置き、日本童謡の発展のために多くの童謡を作曲しました。また、仏教音楽の分野でも日曜学校・幼稚園・保育園の幼児用の歌の作曲も数多く残しています。

坊田かずまの生涯は、余りに短すぎましたが、彼の残した功績は大きく、その業績を偲び彼の志を受け継いで、郷土の文化に貢献したいと考えました。

昨年二月、「坊田かずまの会」が結成され彼の歌を広げ、再び彼の志を甦らせたいと思っています。

多くの皆様方のご賛同を、心からお願いいたします。

目次

坊田かずまの写真	1
発刊を祝して	2
坊田かずま遺品展	4
坊田かずまの郷土	5
かずまの家族	6
ふるさとの学校	7
音楽教育への貢献	8
音楽指導の理論と実際	9
晩年の坊田かずま	10
作曲への道	11
坊田かずまの生涯	37
追憶	51
コンサート	63
坊田かずまの年譜	67
坊田寿真主要著書・作曲年表	68
「坊田かずまの会」役員名簿	70
「坊田かずまの会」会則	71
編集後記	72